

学校教育目標

よく考えて実行する杉本小の子
健康でたくましい杉本小の子
思いやりのある杉本小の子



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和7年12月1日

校長 奥泉 憲

楽しかったね
美味しかったね

11月22日(土)に「杉本小ふれあい広場」が行われました。本校でもインフルエンザの流行が始まっており、子どもたちの健康状態も心配でしたが、当日は無事に実施できて本当に良かったです。PTA本部の皆さんをはじめ、「ふれあい広場」のために何日間も学校に通って準備をしてくださった方々もたくさんいらっしゃいました。地域協力者や保護者の皆様、ボランティアで参加してくださった皆様、そして柏ヶ谷中の各部活動の皆さん、海老名中のボランティア参加の皆さん、多くの方々のご協力、感謝いたします。また、5年生は、総合的な学習で「米づくり」に取り組んできました。当日は、今年収穫した「もち米」を使っの餅つきが行われ、参加した児童に美味しいお餅が配られました。お餅をうれしそうに持ち帰る低学年の子どもたちの姿を見ながら、自分たちが取り組んできた「米作り」の学習の成果を5年生たちがあらためて実感できたなら、私としてもとても嬉しいです。

私自身、「ふれあい広場」に今回初めて参加させていただいて、どの学年の子どもたちも本当に楽しそうに過ごしている姿がとても印象に残りました。これからも温かい地域の皆様に見守られ、支えていただきながら、杉本小の子どもたちを育てていくことを願っています。「ふれあい広場」へのご協力、ありがとうございました。

学校長 奥泉 憲

ミルク
ありがとう

長年、杉本小学校で過ごしてきたうさぎの『ミルク』が11月14日(金)、16時30分ごろ、永眠いたしました。亡くなる前の日にもたくさん子どもたちが、ミルクの様子を見にきていて、「ミルク、大丈夫かな。」と心配そうにしていました。そして、亡くなった後、ミルクが過ごしていた場所に祭壇を作り多くの子どもたちが、手紙を添えていたり、手をあわせたりして参列していました。この場をかりて、そんな子どもたちに『ありがとう』と伝えたいです。きっと天国でミルクも喜んでいると思います。『ミルク』は、子どもたちにとってもかけがえのない存在だったので悲しい思いをしている子も多いと思いますが、『ミルク』との関わりを通して、生き物のお世話をする事の大切さや命の尊さについて、たくさんを学ぶことができたと思っています。

栽培飼育委員会担当 大貫

